

注 意 報

長崎県病害虫防除所長

令和2年度病害虫発生予察 注意報第6号

果樹共通 果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ）

1. 発生地域（対象地域） 県内全域

2. 発生程度 多

3. 注意報発令の根拠

- (1) 本年の越冬量は、1.56頭/m²（平年 0.28頭/m²）と平年より多い（令和2年2月17日付け令和元年度発生予察技術情報第3号）。
- (2) フェロモントラップにおける誘殺数は、4地区とも平年より多い（図1）。
- (3) 本年4月4半旬より県予察圃場（諫早市小船越町B）に新たに設置したフェロモントラップにおいても、かなりの誘殺数が確認されている（図2）。
- (4) 予察灯における誘殺数は平年より多い（図3）。
- (5) 病害虫防除員等の報告によると一部のかんきつ、なし、ぶどう園で飛来や吸汁害が見られる。

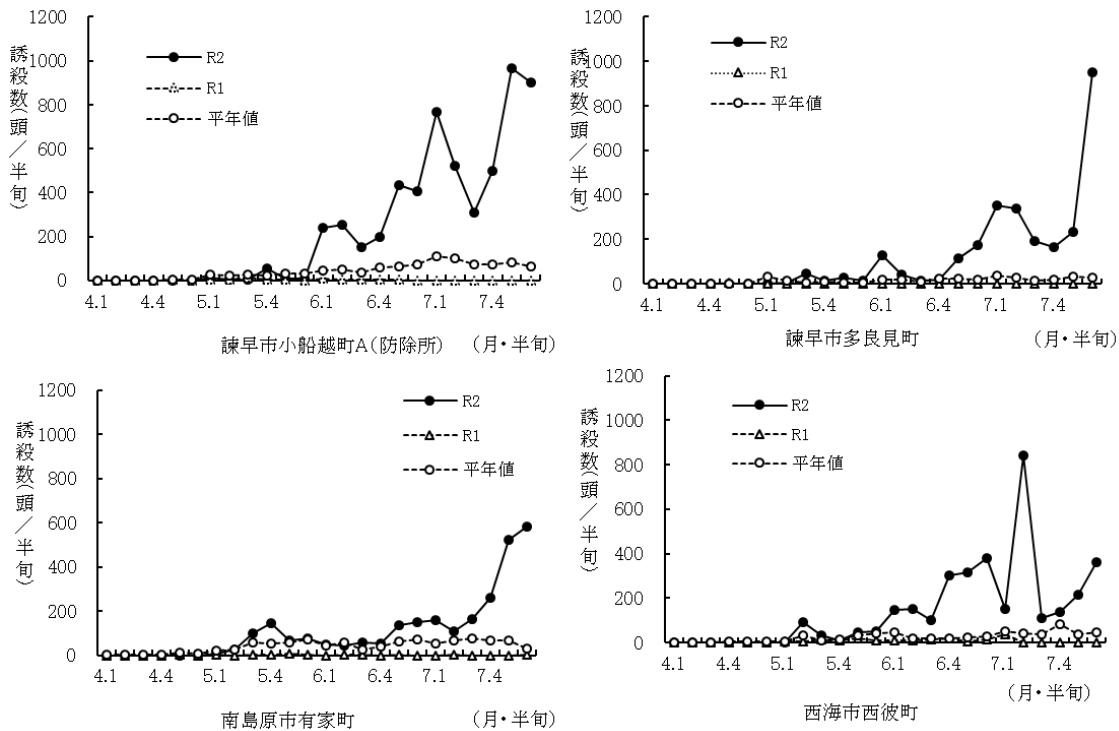
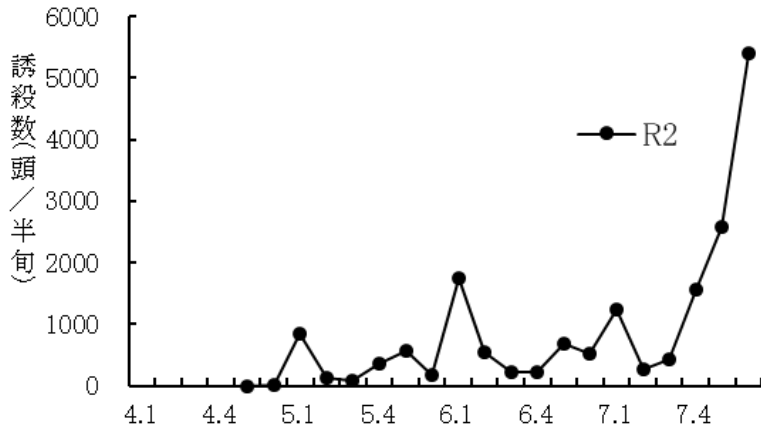
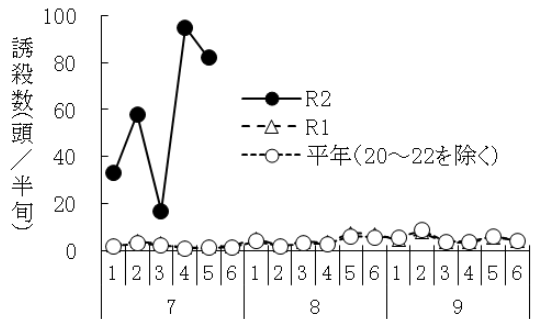


図1 チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシの誘殺状況(黄色コガネコール)

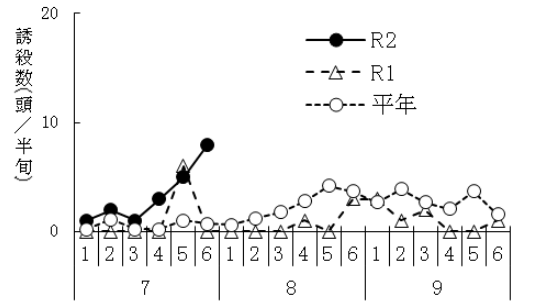


諫早市小船越町B(県予察圃場) (月・半旬)

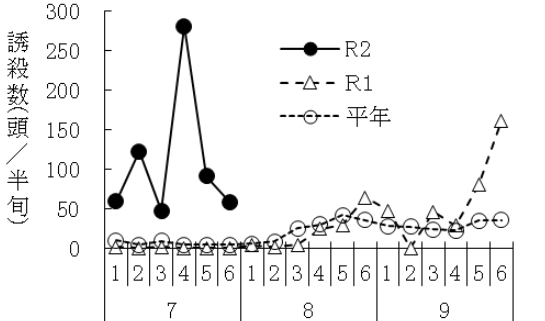
図2 チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシの誘殺状況(黄色コガネコール:2020年設置)



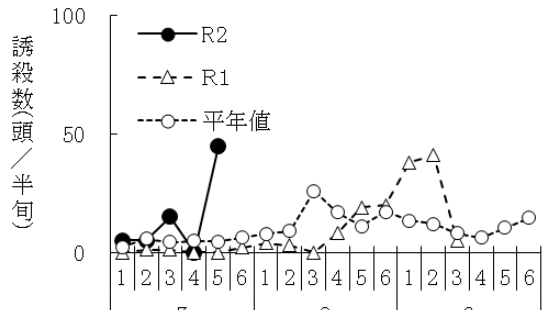
諫早市小船越町(青色) (月・半旬)



諫早市小船越町(白色) (月・半旬)



南島原市北有馬町(白色) (月・半旬)



佐世保市楠木(白色) (月・半旬)

図3 チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ類誘殺状況(予察灯;白色、青色)

4. 防除対策

- (1) 飛来時期や飛来数は園によって差があるので、こまめに見廻って早期発見に努め、飛来を認めたら早急に防除する。山間部や山沿いの園地は被害を受けやすいので注意する。
- (2) ハウス栽培では、開口部を防虫網(4mm目以下)で被覆し、侵入を防ぐ。また既に被覆済みのハウスでは、防虫網の破損がないか点検・補修する。
- (3) カメムシ類の活動は日没前後から活発になるため、薬剤散布は夕方あるいは早朝に行うのが効果的である。
- (4) 合成ピレスロイド系薬剤を連用するとミカンハダニが急増することがあるので注意する。
- (5) 特に収穫時期の近い品目は、薬剤散布時期に注意し使用基準を遵守する。また、周辺環境を十分に確認し、ミツバチを含め周辺動植物等への飛散等の影響がないよう十分注意する。

-
- 6月から8月までの3か月間を「農薬危害防止運動月間」と定め、農薬事故を防止する運動を実施しています。
 - 長崎県病虫害防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。
「長崎県防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>
 - この情報に関するお問い合わせ
長崎県病虫害防除所 TEL：0957-26-0027

